

平成30年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検・評価報告書

令和2年8月

東栄町教育委員会

はじめに

東栄町教育委員会では、平成28年3月に策定した「第6次東栄町総合計画 山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」の「豊かな文化と心を育むまちづくり」を施策の基本方向とし、併せて策定した教育大綱に基づき着実な推進に努めているところであります。これらで掲げた政策目標の達成に向けて、毎年度、施策評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を地方教育行政の組織及び運営に関する法律による、「教育に関する事務の管理及び執行の状況」の点検及び評価等の報告書として位置づけ公表します。

報告書の構成

I 施策と評価	・・・・・・・・・・・・・・・・	3～14
II 施策の実施状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	15～23
III 参考資料（主要事業・主要行事）	・・・・・・・・	25～27

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

○現状と課題

- ・小・中学校ともに児童・生徒数が減少し、小規模校となる中、学習指導の充実や教職員の質の向上を図るとともに、小・中学校の教員や地域が連携し、小中連携教育の研究を行っていくことが重要です。また、保育園と小中学校との間で、児童の食物アレルギー情報の提供など健康分野での連携がとれていますが、これをさらに広い分野での連携関係にしていくことが望まれます。
- ・小・中学校の児童・生徒の減少に伴う教育のあり方に対応した教育施設や設備の整備を行うことが必要です。
- ・町内には高校がなく、町外高校への就学を余儀なくされており、都会と比べ、保護者の経済的負担が大きくなっています。

○施策がめざす将来の姿

- ・小学校と中学校の教員、地域が連携することで小中連携教育が進んでいます。
- ・時代を見据えた教育内容、教育方法等により多様な学習活動が実施されています。
- ・児童・生徒の特性を把握し、一人ひとりの良さや可能性を伸ばす教育がされています。
- ・保育園、小学校、中学校の連携が一層進み、とぎれのない保育・教育が行われています。
- ・希望に応じて高等教育が受けられる環境が整っています。

○個別施策

1-1 きめ細かな教育の推進

小規模校としての特性を生かし、一人ひとりに応じた学習指導を行い、基礎学力の向上を図ります。

支援が必要となる児童や生徒に対して、特別支援教育の支援員を配置するなど、きめ細かな教育を行います。

【主な事業】：特別支援教育支援員事業

1-2 知・徳・体が調和した教育の推進

基礎学力の向上をはじめ、道徳教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、食育、職業体験など、各種教育に力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育を行います。ふるさと東栄を学び、ふるさと東栄を愛する天地人教育を推進します。

小・中学校へALTを派遣し、英語教育の充実を図るとともに中学生の海外派遣として、ホームステイや交流体験を行うことで、言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚を身につけるように進めます。

【主な事業】：外国語指導助手設置事業 中学生海外派遣事業

1-3 連携教育の推進

小中学校が各1校であるため、教育目標やカリキュラムの共通している部分を協力して行います。

教育の充実を図るため、保育園と小中学校における教育分野での連携について研究していきます。

中高一貫教育を進めている田口高校との連携を密にしていきます。

いじめ問題や不登校等の子どもに適切に対応するため、児童・生徒の心に寄り添う相談体制の充実と早期の対応を図ります。

【主な事業】：保・小・中連携教育研究事業 保・小・中連携教育事業

1-4 小中学校の施設・設備の充実

教育環境を整えるため、計画的に修繕、工事、備品購入等を行い、小学校、中学校における施設や設備の充実を図ります。

【主な事業】：小中学校施設管理整備事業

1-5 高校への就学支援

高校への就学を支援するため、通学費や授業料の一部を補助します。

【主な事業】：高校生通学費補助事業 私立高校授業料補助事業

○協働の進め方

- ・特別支援教育支援員により、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を行います。
- ・地域住民を講師にした学習指導、部活動指導、ふるさと学習、職業体験などの総合的な学習を推進します。

個別施策	平成30年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>1-1 きめ細かな教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中一貫教育」計画案を東栄町総合教育会議に提案した。 ・小中学校の校内現職研修を中心に、教員の指導力の向上を図った。 ・支援の必要な新入生の就学に向け、子どもの理解と教育方法の研修等の準備を重ねた。 ・小中学校に支援員を配置し、個に応じた学習を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の統合を機に、東栄町の教育の経過を整理し、保育園から一貫した方針で教育を進める計画の概要を提案できた。 ・授業研究会を計画的に数回開催して授業力を高めた。また子どもの理解や健康教育についての情報共有や意識の向上ができた。教員の在校時間と教育内容の整理が求められる。 ・入学後の対応の方針や手順を決定し、指導者や支援者の準備もできた。早い時期からの対応と、他の課や保育園、特別支援学校との連携が効果的であった。 ・支援が必要な児童に個別に支援をすることで、授業の理解と集中の持続ができた。
<p>1-2 知・徳・体が調和した教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中一貫教育」計画案を東栄町総合教育会議に提案した。 ・ALTを雇用し小中学校の英語教育の質の向上を図った。 ・中学生海外派遣事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一生を生き抜くための基礎的な力を洗い出し「東栄中学校卒業時の姿」として子どもたちに育てたい力を具体化した。内容を時間をかけて検討する必要がある。 ・授業は楽しく、ネイティブの発音が身につく子どもも多い。担任との打ち合わせを密にするとともに、担任自身の指導力の向上も求められる。 ・海外生活を体験し、言語や文化の学習とともに、自信をもち自覚を高める効果が認められた。

<p>1-3 連携教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中一貫教育」計画案を東栄町総合教育会議に提案した。 ・毎月開催する小中学校長会議に、11月以後保育園長が参加することとした。 ・現職教育委員会に、保小中連携教育の研究を継続して委託した。 ・北設楽中高一貫教育に取り組み、数学・英語の授業、サマーゼミナー、お仕事フェア、文化祭・駅伝等の交流を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の統合を前に、町の教育の伝統を尊重しつつ、保育園から中学まで一貫した方針で教育を進める計画の概要を提案できた。保護者や町民への共通理解のあり方考える必要がある。 ・子どもの状態や各園校の教育活動の状況が共有できた。連携の具体的な方法についての検討が必要である。 ・保健教育を中心に推進した。また、就学計画を通して保小の職員の連携が深くなった。 ・高校生の学校生活や取り組みを知り、進路選択の参考とすることができた。田口高校へは1名が進学した。
<p>1-4 小中学校の施設・設備の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の技術室の屋根及び渡り廊下の改修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修により安全で快適に学校生活を送ることができるようになり、長期の使用に耐えうるようになった。
<p>1-5 高校への就学支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校への就学を支援するために、通学費用や授業料の一部補助を継続して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の費用や授業料を補助することによって、家庭の負担を軽減し、高校生の向学心を後押しできた。

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 2 家庭・地域における教育（青少年の健全育成）

○現状と課題

- ・子ども達が地域との関わりを持てる場が少なくなり、世代間や異年齢の子ども達との交流が減っているため、規範意識や社会性の低下が懸念されます。また、少子化が進み、子ども組織の地域活動が衰退しており、これに伴い地域における子どもの居場所がなくなってきています。
- ・また、子どもへの教育は家庭での教育が基本ですが、核家族化や共働き家庭が増えたこともあり、最近では親子がふれあえる時間も少なくなり、家庭での教育力も低下しています。そのため、「子どもは町の宝」として地域で支える仕組みづくりを行うとともに、親子でのふれあいを通じ、生活習慣の基本を身につけられるようなしつけなどに関する支援が求められます。

○施策がめざす将来の姿

- ・子どもたちと地域との関りが強く、地域が一丸となり子どもの健全育成を推進できる体制ができています。
- ・親子のふれあいの場や対話の機会が設けられています。

○個別施策

2-1 家庭教育力の向上

家庭における親と子のふれあいの場が確保でき、また、児童が人との関わり方や生活習慣の基本を身につけられるように、保護者に対するしつけなどの家庭教育の支援や相談体制の充実を図ります。

【主な事業】：家庭教育支援事業

2-2 児童の健全育成

放課後の子ども達の安全で健やかな居場所づくりを推進するとともに、仕事や社会活動と子育てが両立できるように、保育所の延長保育の時間にあわせて放課後児童クラブの開所時間の延長を図るなど、放課後児童クラブの充実を図ります。

小学校の放課後や長期休暇等において、児童が安心して過ごせるようボランティアによる体験指導を行うなど、放課後児童クラブの内容の充実を図ります。

【主な事業】：放課後児童クラブ運営事業 体験指導者登録事業

2-3 子どもの居場所づくり

町中心部に子どもから大人までが、安全に集い、過ごせる児童公園を整備します。

子ども達の健全育成に向け、児童公園、のき山学校、図書室等を子ども達の居場所とするとともに、組や区などの地域で実施する行事等に子ども達が参加しやすい環境を確保できるように支援します。

子どもと高齢者が、家族の垣根を越えてふれあい、また、子どもが高齢者から学ぶ機会を創出することで、地域一体となった子育てと郷土を愛する意識の醸成を図ります。

【主な事業】：児童公園整備事業 健全育成環境づくり事業
出合い、触れ合い、学び合い事業

○協働の進め方

- ・家庭教育力の向上を図るため、地域やP T A、学校との連携強化を図り、保護者への支援を行います。
- ・ボランティアによる体験学習を行います。
- ・子ども達が地域活動に参加しやすくなるような支援を行います。
- ・地域が一体となって、郷土を愛する子ども達を育みます。

個別施策	平成30年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>2-1 家庭教育力の向上</p>	<p>・「保小中一貫教育」計画案を東栄町総合教育会議に提案した。</p> <p>・「学校保健委員会」などの実施方法を工夫し、親子で話し合っている場を小中学校で設けた。</p> <p>・保護者会、個別懇談、PTA環境美化活動等の場で、個に応じた家庭教育の方向性を示した。</p> <p>・スクールカウンセラーを継続配置し、保護者の相談に対応できるようにした。</p>	<p>・家庭での指導の指針になる具体的な目標案を提示した。保護者が理解して行動しやすい示し方を工夫する必要がある。</p> <p>・具体的な課題について話し合うことで、話題を共有できた。</p> <p>・個々の課題に対して共に考え、解決の方法を支援できた。どの保護者とも信頼関係をいっそう深めたい。</p> <p>・相談できる専門家を配置できた。より活用しやすい工夫をしたい。</p>
<p>2-2 児童の健全育成</p>	<p>・住民福祉課事業</p>	<p>・住民福祉課事業</p>
<p>2-3 子どもの居場所づくり</p>	<p>・愛知大学との包括協定に基づく「サマースクール」を開催し、大学生の計画による体験学習を展開した。</p> <p>・スクールガードや地域見守り隊活動を依頼し、安全に登下校できる体制を維持した。</p> <p>・小中学校ともに総合的な学習の時間を通して、地域を愛し地域を理解する学習を計画的に実施した。</p>	<p>・新たに出会う人との交流を通して、異年齢の人との人間関係づくりを体験でき、社会性を高められた。下見を含め学生の移動について配慮する必要がある。</p> <p>・安全の保障だけでなく、地域の方と触れ合うことができた。</p> <p>・高齢者から伝統的農業を学ぶことができた。中学生は取材や体験活動を通して地域の方と接することができた。防災訓練や美化活動などの地域行事にも積極的に参加させたい。</p>

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

○現状と課題

- ・生涯学習では、生涯を通じて学び成長する機会に対するニーズは多様化していますが、講師の確保が困難であるため、住民ニーズに対して十分な講座の開講ができていません。
- ・生涯スポーツによって体力や健康の保持、増進が図られますが、スポーツ人口や指導者が減少しています。
- ・総合社会教育文化施設では、利用促進に向けての積極的なPRを行っているものの、利用者数の減少と共に収益も減少しています。ハード面では、各施設の老朽化が目立っており、花祭会館の耐震性も課題となっています。また、ソフト面では、各種体験メニューを実施するなどの積極的な事業展開には至っていません。

○施策がめざす将来の姿

- ・多くの住民が生涯を通して自主的に学習できる機会が充実し講師の育成もできています。
- ・子どもから高齢者まで、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ環境が整っています。
- ・総合社会教育文化施設が町内外の多くの方に利用され、適切に管理運営されています。
- ・施設が計画的に改修・修繕され、安全かつ快適に使用されています。
- ・夏・冬・春休みや長期連休に、スポーツ合宿や研修の団体利用が活発に行われています。
- ・生涯学習施設の持つ集会施設としての価値や博物館的価値、または総合的なスポーツ施設としての価値を存分に生かした諸事業が展開されています。

○個別施策

3-1 生涯学習の充実

多様な学習ニーズに対応するため、民間の人材やノウハウの活用を図るとともに、地域の学校や東三河管内の生涯学習実施期間との連携などにより、各種講座の充実を図ります。

住民からの自薦・他薦で、個々の町民が持っている知恵や技などを出してもらい登録する「人材バンク登録制度」を創設し、体験学習会などの講師を担います。

【主な事業】：生涯学習講座開講支援事業 指導者・ボランティアの養成事業
人材バンク登録事業

3-2 スポーツ活動の充実

子どもから高齢者までだれもが楽しむことができ、地域が一体となって取り組むことができるスポーツ活動の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。

【主な事業】：生涯スポーツ実施事業 町民体育祭の開催

3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進

管理施設の中で、屋根や壁、柱など構造部分に関する改修・修繕等が必要な施設について、改修計画を策定し、緊急度に応じて改修・修繕等を行います。

施設の利用促進に向けて、利用者を待つばかりでなく、周りの環境を生かした企画事業を実施し、積極的な利用者拡大を図ります。

【主な事業】：施設管理事業 企画事業の開催

○協働の進め方

- ・子どもから高齢者までの町民全員が参加し楽しめる町民体育祭を開催します。

個別施策	平成30年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>3-1 生涯学習の充実</p>	<p>・既存の社会教育施設、体育施設などを有効に活用して21の講座を開設し、延べ153回の講座を運営した。</p> <p>・令和2年3月現在、延べ62名のボランティア指導者に活躍していただいている。</p>	<p>・受講者の学ぶ楽しさと講師の教える喜びをともに満たし、充実した生涯学習講座を実施することができた。</p> <p>・指導者の高齢化への対応と、さらなる人材発掘が必要である。</p>
<p>3-2 スポーツ活動の充実</p>	<p>・B&Gセンターインストラクター養成講座に職員を派遣した。</p> <p>・様々なスポーツに取り組めるよう、希望を生かした生涯スポーツ講座を開設した。ニューススポーツ教室は吹き矢を実施した。</p> <p>・名古屋グランパスサッカー教室を実施した。中日ドラゴンズの選手を招き、設楽町・豊根村と合同で野球教室を実施した。</p>	<p>・各種スポーツの指導者を養成でき、水泳教室などの講師を増やすことができた。</p> <p>・各種スポーツを愛好する町民の活動の場を提供できた。吹き矢は高齢者にも人気があった。高齢化や参加者の減少にどう対応していくかが課題である。</p> <p>・プロ選手の指導により、参加者の技能や練習への意欲を高めた。参加者数の減少にどう対応していくかが課題である。</p>
<p>3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進</p>	<p>・B&G海洋センター体育館とプールの改修工事を行った。</p> <p>・総合文化施設の管理運営については、シルバー人材センターを指定管理者として適正に管理を行った。</p> <p>・グリーンハウス体育室の屋根を改修し保健室にエアコンを設置した。</p>	<p>・体育館の床、照明、外壁塗装、トイレ等の大規模改修とプールの大規模改修を、B&G財団の助成を得て行った。利用を促進したい。</p> <p>・計画的な運営を行い、利用者の期待に応えることができた。</p> <p>・安心して使用でき、長期の使用に耐えられるようになった。利用を促進するためにも、計画に従って順次改修を進める必要がある。</p>

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

○現状と課題

- ・過疎、少子化が進む中、花祭やシカウチ行事といった民俗芸能の保存・伝承を担う後継者が不足しており、後継者の確保、育成が必要です。
- ・町の文化を保存・継承していくため、民具や古文書など有形文化財の価値を広く住民に理解していただくとともに、散逸防止を図ることが必要です。また、これまで収集してきた収蔵物の活用等についても検討することが必要です。

○施策がめざす将来の姿

- ・花祭りやシカウチ行事などの民俗文化が広く住民に理解され、多くの後継者や指導者が育成・確保され、確実に後世に伝承されています。
- ・文化財に対する正しい理解と愛護意識が多くの住民に備わり、保存のみならず、これを活用した講座や教室が開催され、より多くの住民が文化財に関する知識を身につけています。

○個別施策

4-1 後継者育成の支援

保存団体の実状を的確に把握し、それに応じた人材確保策について、保存団体と協議・検討を行い、必要な策を講じます。

【主な事業】：後継者育成事業 無形民俗文化財PR事業

4-2 文化財の保存・継承環境づくり

住民に地域の歴史や文化に対する認識を促し、愛護意識を高めるため、町内に存在する文化財のPRを強化するとともに、文化財を活用した学習講座の開催など、貴重な文化遺産の周知に努めます。

また、花祭会館の改修など、文化財を保存・展示する環境整備を図ります。

【主な事業】：文化財講座開催事業 無形民俗文化財PR媒体整備事業
花祭会館改修事業

○協働の進め方

- ・盆踊りの担い手を育成する子ども向け講習会の実施を支援します。
- ・地域の文化財について、町民の知識を深めるため、専門講師を招いた講座を実施します。

施策評価シート（基本施策4 文化の保存と継承）

個別施策	平成30年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>4-1 後継者育成の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県・町費を有効活用し無形民俗文化財に対する補助事業を実施し、小林地区(舞庭, 提灯)、御園地区(舞庭換気扇)の作製と修繕を行った。 ・布川地区の花祭が本年度を最後に休止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花祭後継者育成の意欲付けの一助となった。各地区の後継者の育成に向け、情報を共有する工夫が必要である。 ・今後も布川地区と連絡を取り、今後の動向や対応について掌握する必要がある。
<p>4-2 文化財の保存・継承環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国県指定の無形民俗文化財と、県庁指定無形民俗文化財の保存団体に補助金を交付した。 ・花祭会館映像データベースシステムが設置され、小林と足込の資料が整備された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施と保存のために必要な経費や道具・施設の整備に使われている。道具の補修等は高額で、各団体とも苦しい状況である。 ・映像で祭りを体験できるようになった。広報と、今後の資料整備への対応が必要である。

教 育

<学校教育>

東栄町の学校教育は、児童・生徒の発達に応じ、生涯に渡り豊かな人間性を形成するための基盤と基本を会得させ、「知・徳・体」の調和のとれた教育を実践した。又、本町独自の学習指導に「天地人教育」を導入し、東栄町の自然や人材など独自の素材をとり上げた学習を展開した。

①天地人教育の推進

「ふるさと東栄」は豊かな自然に恵まれている。「ふるさと東栄」には古く、尊い歴史がある。このように、「ふるさと東栄」の郷土の特性を生かし、自然と文化の調和のとれた発展を図りながら人間性豊かな人づくりを目指す「天地人教育」を推進した。

②町現職教育研究事業の推進

生きる力に満ちた児童生徒の育成をめざして、専門職としての資質を高め「天地人教育」の理念を実践することを目的に、小中学校教職員で町現職教育事業4委員会（企画・天地人教育研究・実技研修・小中連携）を設置し、へき地教育等の実践に取り組んだ。

③学校施設等整備

東栄中学校技術室屋根改修及び渡廊下塗装工事	5, 7 2 4 千円
東栄中学校電子黒板設置工事	1, 3 6 7 千円

④中学生海外派遣事業

国際理解教育の一環として平成30年5月24日から30日までの7日間、東栄中学校3年生14名をカナダに派遣し、交流校での授業参加や市内見学など研修を実施した。

⑤小学校外国語活動

新学習指導要領に基づく外国語活動では、中学校へ配属している外国語指導助手（ALT）を小学校へ派遣し、英語を通じて言語や文化について、体験的に理解を深めコミュニケーション能力の素地を養うことができた。

⑥連携型中高一貫教育推進

町では「北設楽中高一貫教育推進委員会」に参加し、愛知県立田口高等学校と郡内全中学校との連携型中高一貫教育を行った。田口高校と東栄中学校の教員を相互に派遣しての交流授業をはじめ、田口高校演習林でのサマーセミナー、部活動交流、文化祭作品交流等を実施した。

⑦とうえい地域未来塾(公営塾)

平成30年度より、中学1年生を対象とした公営塾を開始した。学習の遅れがちな中学生を対象にして、放課後に受講無料の学習支援を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図った。

小中学校の状況

平成30年4月1日現在

区分	教員・職員数						学級数	児童・生徒数						
	教員	養護	事務	栄養	講師	計		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
東栄小学校	11	1	1	0	0	13	8	27	20	15	15	21	18	116
東栄中学校	13	1	1	1	0	16	4	23	14	15	—	—	—	52
合計	24	2	2	1	0	29	12	—	—	—	—	—	—	168

学校教育主要事業

単位：千円

事業名	対象	内容	事業費	財源内訳			備考
				国県支出金	その他	一般財源	
小学校水泳指導事業	小学校	インストラクターによる水泳指導	170	0	0	170	
小学校臨海学習事業	小学5年生	海での泳力や体力の向上産業の学習 (7/23~7/25 篠島)	563	0	189	374	
農業体験学習事業	小学校	学校農園等での農作業体験学習	21	0	0	21	
中学校海外派遣事業	中学3年生	カナダ・RCA校訪問等 (5/24~5/30)	6,029	0	840	5,189	
進路指導事業	中学校	進路指導資料収集、学校訪問等	73	0	0	73	
中学校部活動補助事業	中学校	体育的部活動の派遣費、運営費の補助	697	0	0	697	
スキー教室事業	小学校 中学校	スキーを通じた集団行動、スキー技術向上 東栄小1/10 東栄中1/23	小334 中117	0	0	451	
環境整備事業	小学校 中学校	学校花壇等の環境整備	小20 中18	0	0	38	
あいち出会いと体験道場推進事業	小学校 中学校	キャリアスクールプロジェクト、職場体験等	小135 中35	170	0	0	

教育費補助金の状況

項目	名称	補助額 (円)	使 途
教育総務費	私立高等学校授業料助成金	84,000	公私立学校間の授業料格差是正 該当者 7名 1名 12,000円
	教育委員会費 高校生通学等支援事業補助金	4,078,000	高校生への通学等補助 該当者 66名
	農業体験学習事業費補助金	21,000	農業体験学習に係る小学校への補助
小学校費	学校管理費 小学校臨海学習費補助金	374,000	小学校5年生の宿泊学習に伴う費用補助 (7/23~7/25 篠島) 児童 21名 教員 6名
	小学校水泳指導費補助金	170,000	水泳指導に要する経費の補助
	教育振興費 小学校地域体験学習補助金	70,000	米作りの体験学習に対する補助
中学校費	学校管理費 中学校海外派遣事業費補助金	131,750	中学生海外派遣事業に係る経費の補助 (5/24~5/30 カナダ) 生徒 14名 引率 5名
	教育振興費 自転車通学生徒補助金	75,000	自転車通学生徒への補助 (中学校在籍初年度のみ補助) 該当生徒 5名 1名 15,000円
	特別支援教育就学奨励費	149,077	特別支援学級の生徒に対する補助
	進路指導費補助金	73,310	進路指導資料、学校訪問等に係る補助
保健体育費	スキー教室バス補助金	451,600	スキー教室輸送バス代金等補助 東栄小 334,500円、東栄中 117,100円
	保健体育費 中学校体育活動費補助金	697,658	中学校体育的部活動の派遣費、運営費補助 東栄中学校
	小中学校環境整備事業補助金	38,482	校内、花壇等の環境整備に係る補助 東栄小 20,000円、東栄中 18,482円

<社会教育>

(1) 幼児・青少年・成人教育

様々な年齢層の学習機会を確保するため、生涯学習講座の年間にわたる開設を中心におき、その発表の場としての文化祭を開催するなど、社会教育活動の関連性を深めるよう事業を構成した。

生涯学習講座は、町民の意欲的な指導協力をもとに、小中学生から一般成人までが幅広く取り組めるように全21講座を開設し、のべ153回の講座を行った。受講者の学ぶ楽しみと講師の教える喜びが融合して、充実した生涯学習活動を展開することができた。

文化祭の作品展示会には文化クラブの他個人での参加もあり、老若男女を問わない幅広い展示を行うことができた。

文化協会の自主的な事業展開を促進するため、通常の補助金に加え自主事業補助金を支出し、親子学習会や講演会、現地視察事業展開の補助を行った。

平成26年度から開催している小学校5・6年生対象の英話教室を今年度は全学年を対象とし、充実した英語学習を行うことができた。

(単位:千円)

事業名	対象	内容	事業費	財源内訳				備考
				国県支出金	起債	一般財源	その他	
文化祭	一般	町民作品展示会 (5日間) 文化講演会 町民芸能まつり	624			624		展示会 20団体 芸能まつり 13演目
成人式	新成人者	新成人を祝う記念 式典を挙 行 ・オペラとジャズ コンサートのア トラクシ ョン	299			299		新成人 19名
文化協会助 成事業	文化協会	文化協会の活動費 自主事業への補助	400			400		会員数 195名
生涯学習の まちづくり推 進事業	一般	町民講座を中心と した生涯学習の実 践 愛知大学との包括 協定による「サマ ースクール」の開 講	1,092			1,092		生涯学習 延べ参加者 1,769名 サマースクール 参加者76名

(2) 文化財保護

文化財は郷土の歴史や文化の進展の基礎で、町民共有の財産である。そのため、文化財の保護の充実を図るとともに後継者を育成し、貴重な文化遺産の有効な普及活用をした。

文化財審議会においては、文化財の保護を目的とした会議や委員による町内における県・町指定文化財の現状確認調査を実施した。

(単位：千円)

事業名	対象	内容	事業費	財源内訳				備考
				国県 支出金	起債	一般 財源	その他	
文化財保存事業	花祭保存会	国指定無形民俗文化財 11 保存会に補助	550			550		各 5 万円
	シカウチ行事保存会 4 保存会 (布川・ 月・小林・古戸) 下田巫女神楽 下田盆踊り 上粟代の念仏踊り 古戸の念仏踊り 足込の念仏踊り 月の念仏踊り	県・町指定無形民俗文化財保存団体に補助	100			100		各 1 万円

(3) 社会体育

町民の健康増進と連帯感の養成、人間的融和を目的に各事業を実施した。

青少年への取り組みは、設楽町・豊根村と共同で「北設スポーツ教室」を開催し、「中日ドラゴンズ野球教室」を実施した。教室では 65 名の小中学生が谷元圭介投手・松井佑介外野手の指導を受け技術の習得に励んだ。また、「名古屋グランパス東栄サッカー教室」を開催し東栄 FC 及び郡内小学生 49 名がスクールコーチの指導を受けた。その他、剣道・空手などの少年少女スポーツクラブへの助成を行い青少年スポーツの推進を図った。

ニュースポーツ教室として「スポーツ吹矢」を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりが実践できた。

体育協会では、主催事業「第 5 回東栄マラソン大会」を開催し出場募集を町内外に呼び掛け、421 名の参加者を得ることができた。また、東三河陸上競技会会長 夏目輝久さんと元日本郵政グループ女子陸上部の東出早紀子さんをゲストランナーとして招き「ランニング講座」を行ったほか、選手と共に走っていただき、充実した大会となった。

第 13 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会に選手団を構成し出場、住民の団結と郷土愛を醸成できた。

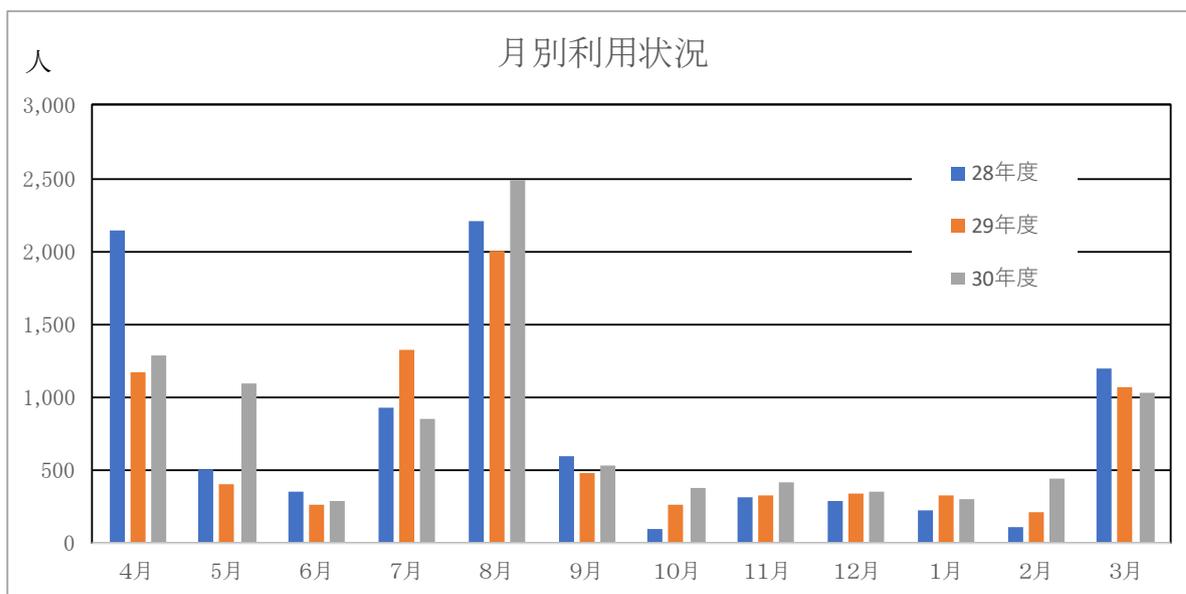
(単位：千円)

事業名	対象	内 容	事業費	財 源 内 訳				備 考
				国県 支出金	起債	一般 財源	その他	
社会体育振興 事業	青 少 年	北設スポーツ教室 (中日ドラゴンズ野球 教室)	284			99	185	
		名古屋グランパス 東栄サッカー教室	275			275		
		少年少女スポーツク ラブ等に対する助成	87			87		
	体育協会	体育振興、町民大 会、自主事業や主催 事業の開催等に対す る補助	1,235			1,235		加盟 15 団体
愛知万博メモリ アル 駅伝大会 への選手派遣	一 般	愛知県下の全市町村 が参加する対抗駅伝 大会に選手団を編成 し出場	246			246		町村の部 16 チーム中 15 位

<東栄町総合社会教育文化施設>

(1) 東栄グリーンハウス

区分	延べ利用者	うち宿泊者	使用料
平成28年度	8,968人	4,543人	6,599,790円
平成29年度	8,170人	4,427人	6,415,705円
平成30年度	9,426人	4,918人	7,106,255円



(人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	2,139	503	354	931	2,203	595	98	316	292	225	111	1,201	8,968
29年度	1,174	400	259	1,324	1,997	483	266	326	337	329	203	1,072	8,170
30年度	1,284	1,088	283	843	2,482	527	380	418	352	295	443	1,031	9,426

(2) 花祭会館

区分	利用者		使用料	手数料 (入館料)	
	利用者	利用者		利用者	手数料 (入館料)
平成28年度	4,124人	1,143人	306,425円	270,900円	
平成29年度	3,152人	989人	222,775円	232,100円	
平成30年度	2,423人	874人	251,275円	245,030円	

(3) 博物館・民芸館

区分	使用料		手数料 (入館料)	
	利用者		利用者	
平成28年度	633人	14,280円	465人	59,960円
平成29年度	374人	11,760円	464人	70,060円
平成30年度	422人	13,440円	199人	64,680円

(4) 体育施設等

区分	テニスコート		弓道場		B&G体育館		B&Gプール	
	利用者		利用者		利用者		利用者	
平成28年度	475人	101,720円	1,292人	95,600円	4,559人	366,850円	2,581人	52,600円
平成29年度	959人	160,430円	1,301人	103,850円	4,112人	361,440円	2,495人	64,560円
平成30年度	480人	93,170円	1,279人	94,150円	2,837人	320,190円	1,923人	51,740円

区分	東栄ドーム		陸上競技場		野球場	
	利用者		利用者		利用者	
平成28年度	22,813人	371,120円	16,502人	94,500円	5,170人	192,545円
平成29年度	33,264人	426,100円	26,291人	89,450円	7,754人	212,135円
平成30年度	39,961人	437,050円	26,458人	75,600円	2,336人	163,050円

(5) 雑収入

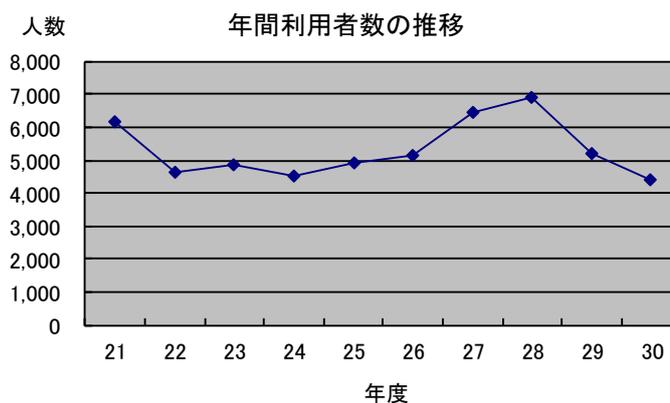
区分	ざげち等販売収入	自動販売機手数料	計
平成28年度	91,552円	154,384円	245,936円
平成29年度	56,420円	149,662円	206,082円
平成30年度	85,920円	163,466円	249,386円

〈 森林体験交流センター 〉

① 利用実績

・ 推移

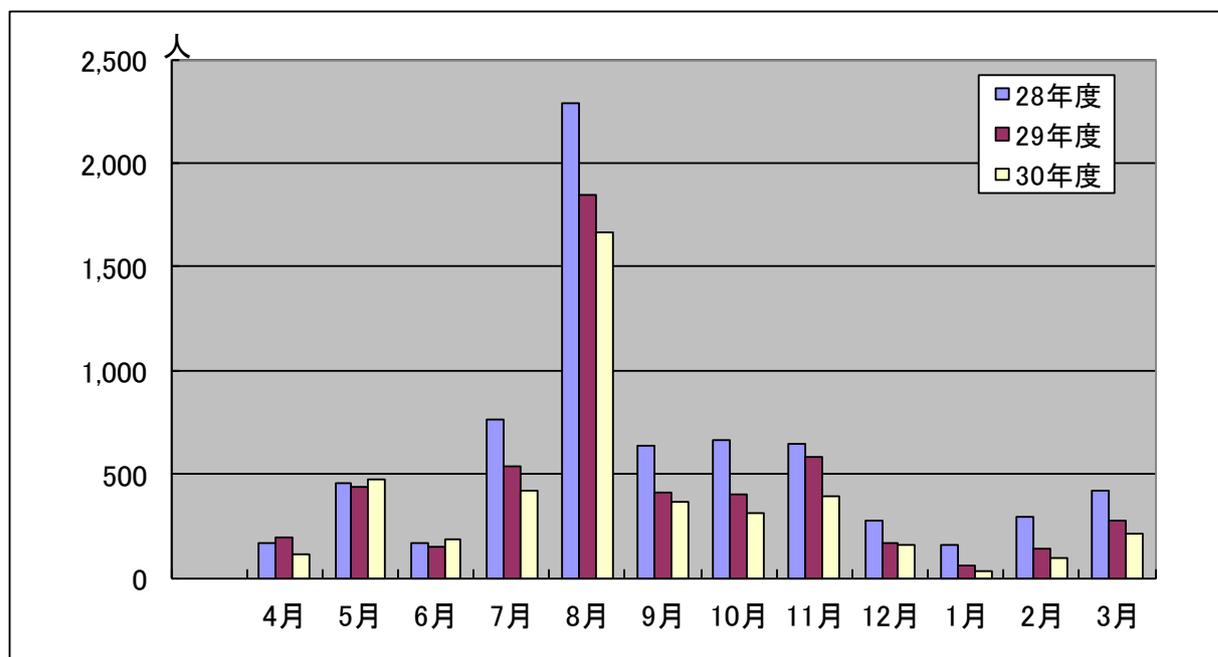
項目	のべ利用者数	
	のべ利用者数	のべ宿泊者数
28年度	6,933人	3,405人
29年度	5,196人	2,621人
30年度	4,430人	2,111人



・ 利用の内訳

区分		使用料			手数料		雑入
		センター	バンガロー	Pゴルフ	プラネタリウム	観望会	
人数 (人)	29年度	768	1,853	0	1,792	799	—
	30年度	536	1,575	0	1,527	905	—
収入 (円)	29年度	2,416,800	4,777,800	0	770,340		469,616
	30年度	1,613,200	4,674,900	0	700,020		284,463

・ 月別利用実績



(単位: 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	171	453	168	762	2,290	640	664	642	273	157	290	423	6,933
29年度	190	440	146	540	1,843	408	404	583	164	57	144	277	5,196
30年度	117	473	189	424	1,661	366	311	395	155	36	92	211	4,430

② 天文学習会(教育)関係

町内の小・中学生を中心に、天文学教室(全6回)を開催した。また、県の高等学校文化連盟の天体観測研修会(毎年実施)の他、高等学校の部活動にも積極的に対応した。

2016年から毎年開講している「おくみかわ星空講座」(星空案内人講座)の開催会場となり、一部講座を受け持つ等、奥三河観光協議会の活動にも寄与した。

項目	実施日	学校・団体名	参加者数
宿泊研修	6月7日～6月8日	東栄中学校(1年)	27人
天文学教室	5月～11月(全6回)	東栄町住民	81人
おくみかわ星空講座	5月12日、11月10日	奥三河星空の魅力を伝える会	70人
天体観測研修	10月20日～10月21日	県高等学校文化部連盟	60人

教育課

単位:千円

事業名又は工事名	施行場所	事業内容	事業費	財 源 内 訳					事業費のうち直接工事費	しゅん工年月日
				国 支 出 金	県 起 債	一 財	般 源	そ の 他		
東栄中学校技術室屋根改修及び渡廊下塗装工事	本郷	技術室屋根改修 渡廊下塗装	5,724			5,724			5,724	H30.10.5
東栄中学校電子黒板設置工事	本郷	2年生教室への電子黒板設置	1,367			1,367			1,367	H31.1.24
グリーンハウス保健室エアコン取付工事	本郷	グリーンハウス保健室へのエアコン設置	191			191			191	H30.8.2
グリーンハウス体育室屋根改修工事	本郷	グリーンハウス体育室雨漏りに伴う屋根・エキストラハンジョイント部改修	8,208			8,208			8,208	H30.8.10
B&G海洋センター体育館改修工事	本郷	外壁塗装、便所改修、アリーナ床改修、アリーナ照明LED	30,888		10,000	2,288	18,600		30,888	H31.3.8
B&G海洋センタープール改修工事	本郷	管理棟外壁塗装、更衣室改修、便所改修、缶体・上屋根塗装	36,612		11,900	2,712	22,000		36,612	H31.3.8
森林体験交流センターフェンス設置工事	御園	バンガロー裏、転落防止用フェンス設置	1,512			1,512			1,512	
合 計			84,502	0	21,900	22,002	40,600		84,502	

教 育 課

年	月	日	行 事 名	行 事 内 容	備 考
3 0	4	2	教職員辞令任達式	小中学校教職員に対する辞令任達式	東栄町役場
		2 0	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	東栄町役場
	5	1 5	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
		2 4	中学校海外派遣事業	カナダ研修 5月24日～30日	カナダ
	6	2 1	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
		2 0	町体育協会総会	事業・会計報告、事業計画・予算審議	役場小会議室
		2 6	町文化財審議会	役員改選、事業の進捗状況報告	役場小会議室
		2 6	町社会教育審議会	委員改選、事業計画、研修計画	役場小会議室
		2 8	学校訪問	公開授業、個別指導等	東栄小中学校
	7	2	教育委員辞令交付式	教育委員、教育委員1名	役場町長室
		2	東栄町教育委員会臨時会	教育長職務代理の指名 他	B & G 体育館
		1 9	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
		2 0	三遠南信教育サミット	教育委員研修会	湖西市
	8	1	イングリッシュキャンプ	小学生5名	東栄グリーンハウス
		7	サマースクール	小学生76名	産業会館
		2 7	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
	9	2 6	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	役場政策会議室
		2 6	総合教育会議	事業の進捗状況、保小中の連携 他	役場会議室
		2 7	通学路安全点検	設楽警察署との合同点検	本郷・下川地内
	1 0	1 3	名古屋グランパス・東栄サッカー教室	東栄FC及び郡内小学生が受講	町グラウンド
		1 8	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
		2 4	学校訪問	特別支援学級授業参観	東栄小学校
		2 8	町文化祭	10月28日 町民芸能まつり	総合社会教育文化施設
	1 1	4		11月4日 文化講演会 期間中 作品展示会	

		1 8	愛知駅伝競走大会結団式	結団式	東栄小学校
		1 9	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
	1 2	1	第13回愛知駅伝競走大会	全9区間、町村の部15位	愛地球博記念公園
		6	東栄町就学指導委員会	心身障害児等の状況、就学検討について	役場小会議室
		1 3	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	東栄小学校
		1 5	北設スポーツ教室 (中日ドラゴンズ野球教室)	講師：谷本圭介投手・松井佑介外野手 郡内の小中学生65名が受講	東栄中学校 グラウンド
3 1	1	1 3	町成人式	新成人19名 記念式典・アトラクション	花祭会館
		1 7	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	東栄中学校
	2	4	学校給食共同調理場運営委員会	アレルギー対応、給食費	東栄中学校
		8	いじめ問題対策協議会	いじめの現状、防止対策の取り組み	役場小会議室
		1 4	東栄町総合社会教育文化施設 運営協議会	施設の運営状況について	東栄グリーンハウス
			町社会教育審議会	30年度事業の実施状況 31年度事業の計画について審議	東栄グリーンハウス
		2 2	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	B & G 体育館
	3	3	東栄マラソン大会	421名出場	町グラウンド～ 桃源橋手前
		1 9	町文化財審議会	事業報告 他	古戸会館
		1 9	文化財現地調査	普光寺「銅鉦鼓」	古戸・普光寺
		1 9	東栄町教育委員会	会議の報告・学校の様子等について	役場政策会議室
		1 9	総合教育会議	事業の進捗状況、保小中の連携 他	役場会議室
		2 6	通学路交通安全対策連絡会	各機関の取り組み状況報告・協議	B & G 体育館
	年 間		生涯学習講座	5月から10月にかけて全21講座 153回を開催	各 所

